

GP農法



農薬・化学肥料を一切使用せず

おいしくて栄養価の高い

野菜が収穫できる「GP農法」

GP 農法は、私達人間が健康で元気に行きっていく為には、「安全」だけではなく、**野菜そのものにエネルギーのあるもの** を摂取することが大切なことと考えました。

「無農薬栽培だと虫が付く」と思われますが、これは間違いです。畑や野菜そのものに、エネルギーが足りなくて弱いから、虫や病気が発生するのです。

現在の野菜は、化学肥料のエネルギーで育った野菜です。化学肥料や農薬漬けになり、本来のエネルギーが単に損なわれただけではなく、マイナスのエネルギーの作用を人間の身体に及ぼしています。

GP 農法の基本原理

「**土壌微生物を活性化して、増殖し、土のパワーを上げる**」

GP農法は健康な土を作る「土壌微生物」に着目しました



従来の窒素、リン酸、カリ等の化学肥料を使用した農業は、**土壌微生物を無視した農業です。これらの資材や一般の有機資材等を使用すると失敗します。**

土壤微生物の力を弱める原因

①土壤消毒

②石灰

以上の 2 点を使用しない

【農薬】

そもそも農薬は害虫を寄せ付けず、殺傷する効果があります。

それと同時に「土壤微生物」をも殺傷してしまいます。

しかし、土の中には何億何兆という数の微生物がおり、その微生物が生きる自然サイクルで、土は本来「健康な土」を維持するのです。

【化学肥料】

化学肥料はそれ自体で虫を集めます。

そして化学肥料は野菜の中に残ります。

野菜に虫が集まってくるのは、野菜の中に化学肥料の(マイナス)のエネルギー残っているからです。

農薬で殺虫してもまた集まり、収穫するまで消毒が繰り返されるのはこの理由からです。

【土の酸化】

化学肥料を使うと土が酸化してしまいます。

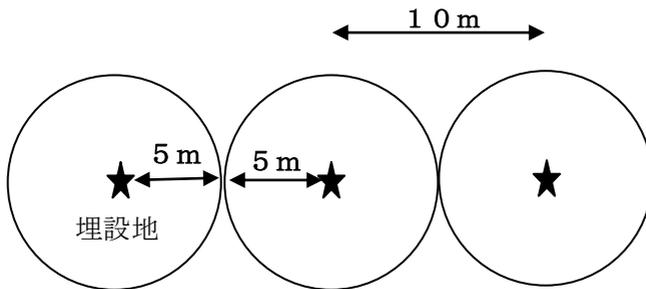
土が固くなってしまい、更には連作障害を引き起こします。

GP 農法の基本作業

- ①GPセラミックを土壤に埋める
- ②草のエキスを散布する
- ③GPぼかしをまぜこむ

【セラミック】

畑、水田、果樹園、花木等の土壤に GP セラミックを深さ 40 ㎝以上の所に 2 個一緒に埋めます。このセラミックは嫌気性微生物用、好気性微生物用であり、2つで一对です。半径 5 ㎝の球体に効果あります。何力所に埋めるかは、土地の広さを計算して使って下さい。



【草のエキス】

GP 農法では野菜、その他植物を**草エキスのエネルギー**で育てます。草エキスのエネルギーは野菜やその他植物を育てて、更に土壤微生物をも元気にします。

【GPぼかし】

ケイ素を含んだモミ殻が発酵分解すると、植物の骨格を作る優れた肥料になります。このぼかしをGP農法では、1 か月で完成します。

草のエキス同様、**土壤微生物を元気**にします。

《草のエキス 葉面散布のタイミング》

通常のタイミングの他に、作物の生育過程にストレスがかかった時に噴霧や散布をするとそのストレスを「解除」する効果があります。

- 【例】
- 1, 種蒔きの直前。種に直接散布。
 - 2, 成り物の場合には、苗の定植の際。
 - 3, 芽かきの時。 終了直後。
 - 4, ハウスでは、開閉の遅れや早すぎで、高温あるいは低温になったり、風のため傷を付けてしまった時
 - 5, 瓜類などの枝切りやナスなどのなり枝カット時。
 - 6, 水のかけ過ぎ、長雨、干ばつ等でストレスがある時。
 - 7, 特に問題がなくても、1ヶ月に1回の散布

4, 5, 6, 7 は、いずれも葉面散布が良いです。面倒なようでも、草エキスを丁寧に活用する事は、トラブルを防ぐための技術です。

《自分でできる土壤微生物簡易テスト》

“土を水に入れて攪拌するだけ”

こんな簡単な方法で、土壤微生物が多いか少ないか直ぐにテストできます。微生物が少ないと、攪拌後5分位で透明感がでます。

微生物が多いと濁ったままです。 300～500 ccの透明なガラスのコップに、水を7～8分目まで入れます。そこに土を20～30g入れてから箸等でよくかき混ぜます。水は水道水でOK。



左【普通の土】 右【GP農法の土】

《土壌微生物に着目したGP農法》

良い野菜作りは
良い土壌作りから

GP農法推進プロジェクト

東京都渋谷区幡ヶ谷 1-9-6-203

ホームページ : <http://www.gpnouhou.jp/>

メール : gpnouhou@gmail.com

FAX : 020-4664-1106